

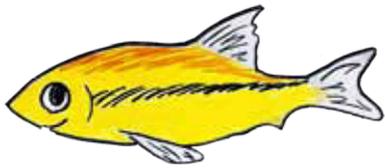
三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

2015
10
2015年9月25日発行
通巻202号

希
少生物と暮らす





「人間の暮らしは自然に支えられている」という当たり前の常識を見つめ直す

What's Kisyouisyu!?

今、日本では環境の変化や人間による開発、外来種の持ち込みなどの影響により多数の生物が絶滅と隣り合わせだと言います。「そんなこと、私には関係のないこと」だと思っていたら大間違い！私たち人間と自然、他生物との間には切っても切れない関係があります。今回は「希少種」に注目し、その関係性を紐解いていきたいと思います。

三重の希少種一覧

「希少種」とは、「絶滅の恐れがある生物の中で特に保護が必要な種」のことを言います。つまり、積極的に守っていかねばならない生物だということです。三重県では、三重県自然環境保全条例によって20種が「三重県指定希少野生動植物種」に指定されています。

- ◆ ツキノワグマ
- ◆ カンムリウミスズメ
- ◆ カラスバト
- ◆ ウチヤマセンニュウ
- ◆ カワバタモロコ
- ◆ ウシモツゴ
- ◆ カワラハンミョウ
- ◆ ハクセンシオマネキ
- ◆ シオマネキ
- ◆ カナマルマイマイ
- ◆ ヒモヅル
- ◆ ヘゴ
- ◆ オオタニワタリ
- ◆ オニバス
- ◆ ジュロウカンアオ
- ◆ マメナシ
- ◆ ハマナツメ
- ◆ ムシトリスミレ
- ◆ トダスゲ
- ◆ ツクシナルコ



ハクセンシオマネキ



カナマルマイマイ



マメナシ



ハマナツメ



ムシトリスミレ

カワバタモロコをたずねて三千里

「希少種」というくらいなので、その姿を見られることは滅多にない！と思うかもしれませんが、生息地に行けば会うことができます。例えば希少種の一つであるカワバタモロコは、名張市の里山にある「トンボ池」に生息しています。1960年代頃までは、ごくごく普通に見られる魚でした。

しかし、水質汚染やため池のコンクリート化などにより生息地が減少、個体数が激減してしまったとか…。

この夏、そんなカワバタモロコに会いにいけるイベント「カワバタモロコに会いに里山のトンボ池に行こう!!」が開催されると聞きつけ、実際にカワバタモロコを見に行き、保護活動を行っている地元のNPOの方にお話をお聞きしました。



いざ、トンボ池へ！



険しい山道



トンボ池に到着



除草作業



集合写真！



カワバタモロコ放流！



カワバタモロコのお話へ！

カワバタモロコの生息地をはじめ里山を守る活動をされている地元のNPO

「赤目の里山を育てる会」の代表 伊井野雄二さんにお話を聞きました



1990年、名張市赤目地区の里山にゴルフ場建設の計画がありました。地域住民は赤目の里山を守るため団結し、赤目の里山の良さを生かした開発を代替案として主張し、その代替案は支持を集め里山の自然は残されました。しかし1995年には産業廃棄物処理場の建設のため赤目の里山の木々が伐採されはじめました。そんなとき「産業廃棄物処理場反対!!」といった看板をたて反対運動を起こすのではなく、生物の住みやすい環境をつくっていこう!と里山の自然をいかしトンボ池をつくり、そしてトンボ池でカワバタモロコを繁殖させることになりました。豊かな里山にはカワバタモロコ以外にもさまざまな生き物が生息しています。現在赤目の里山はこうやってイベントをしたり、近隣の小学生と環境活動をする場所になっています。

希少種は、なぜ希少種になった!? ～3つの危機と地球温暖化～

カワバタモロコが地元の方によって保護され、繁殖にも成功していることはわかりましたが、ここで「そもそもなぜ、希少種は希少種になったのか?」という疑問が出てきませんか? 希少種や絶滅危惧種などの種の減少には、「3つの危機と地球温暖化」とよばれる原因があります。

●第1の危機

(人間活動や開発による危機)

人間による開発や活動など人が引き起こす負の影響要因による生物多様性への影響。例えば…鑑賞や商業利用のための乱獲・過剰な採取や埋め立てなどの開発によって生息環境を悪化・破壊。人間活動が環境に与える影響は大きい。

●第2の危機

(人間活動の縮小による危機)

自然に対する人間の働きかけが縮小・撤退することによる影響。例えば…二次林や採草場が利用されなくなったことで生態系のバランスが崩れ、里地里山の動植物が絶滅の危機にさらされている。

●第3の危機

(人間により持ち込まれたものによる危機)

人間が近代的な生活を送るようになったことにより持ち込まれた外来種等による危機。例えば…外来種が在来種を捕食したり、生息場所を奪ったり、交雑して遺伝的にかく乱をもたらすなど。また、化学物質の中には動植物への毒性をもつものがあり、それらが生態系に影響を与えることがある。

★地球温暖化による危機

生物多様性は、気候変動に対して特に脆弱であり、地球温暖化は大きな課題。例えば…平均気温が1.5～2.5度上がると、氷が溶け出す時期が早まったり、高山帯が縮小されたり、海面温度が上昇したりすることによって、動植物の20～30%は絶滅のリスクが高まるといわれている。

「3つの危機と地球温暖化」を食い止めるために、できることは?

三重県みどり共生推進課 野生生物班の方にお話を聞きました

3つの危機と地球温暖化は、すべて私たち人間の行動によってもたらされたものであり、便利で豊かな生活を求めた結果です。そして、これからも続いていくことだと思います。それを止めるということは、極論を言ってしまうと今の生活を捨て、原始的な生活に戻ることになります。

しかし、それをすんなりと受け入れられる人は多くないのではないのでしょうか。

では、どうすれば良いのかというと、「自然を守りながら上手に利用する」という選択肢があります。

例えばモノを大切に長く使う、無駄な消費をしない、ペットを自然に放さないなど、ひとりひとりができることはたくさんあります。

そして、「そもそもなぜ希少種になったのか?」「なぜ希少種を保護しなければならないのか?」など「なぜ」を考えると、自然の利用方法を見直さなければならない状況下に私たちがいるのだと、知ることができます。希少種がいるということは、生物多様性に黄色信号が灯っていることになります。ひとつの種が絶滅してしまうと、多くの種が生命の危機に瀕(ひん)することになるので、このままのスピードでいけば私たち人間も絶滅してしまうかもしれません。自然を守るということは、いわば自分自身を守るということに繋がります。私たちの生活は自然がある上で成り立っているのだという意識を改めて持つことが、希少種、生物多様性、自然を守る第一歩だと考えます。



みえの自然楽校

わたしたちが豊かな生活を送れるのも自然があってこそ。ひとりひとりが便利すぎる生活を少し見直し、希少生物や自然環境について考え、行動していくことは生物多様性を守っていく第一歩ではないのでしょうか。

協力：特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会、三重県農林水産部 みどり共生推進課 野生生物班



「三重ぐるり」では、毎月テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月のテーマは【環境保全】。環境保全活動を行っている団体を県内の市民活動センターから紹介していただきました。

情報提供：いなべ市市民活動センター

いなべの里山を守る会

〒511-0205 いなべ市員弁町笠田新田 1245 ☎0594-74-3689 [URL http://inabesatoyama.jimdo.com/](http://inabesatoyama.jimdo.com/)



草刈風景

地域の里山をかつて人が出入りしていたときのように整備し、人と自然が調和のとれた環境を再生する事を課題としています。ただ、以前のように畑を耕す人がいないので、子どもたちの遊び場をつくるなど、新たな利用方法を考えています。また、現在整備を行っているフィールドを環境保護啓発の発信地として、山での遊び、樹木観察会、コンサートなどを計画しています。

地域に、いくつかの里山保全団体をつくることを目的とし、自然環境を守ることができればいいと思います。活動しています。

年齢、性別関係なく、地域の環境を守ろうという気持ちのある方は、まずはお電話ください！ 作業以外のお手伝いもいろいろあります。（広報、イベント企画、など）

草刈、間伐などの作業から、イベント企画、広報などいろいろな活動を行っています。月2回の活動です。一緒に里山を守る活動に参加してください。

グリーンボランティア『もり 森林づくり三重』

情報提供：四日市市なやプラザ

〒512-1303 四日市市小牧町 786 國保 明 宅内 ☎&FAX059-339-0410 ✉kokubos_2236@m5.cty-net.ne.jp
[URL http://gvmie.web.fc2.com](http://gvmie.web.fc2.com)



当会所有の森で「ちよっぴー休み！」

- ①山林の間伐、枝打ち、下草刈り、雑木林の整備（枯木・風倒木の処理）、竹林の除伐、学校林の危険木伐倒、密生灌木（かんぼく）の除伐等
- ②山林内の不法投棄物の処理等
- ③企業等の依頼により森とのふれあいイベント（伐木体験、自然観察、散策路づくり等）の指導協力
- ④学校・各種団体の依頼により学童・PTA・地域住民に、森林観察・森の遊び・木工教室等を実施
- ⑤温泉街の空き店舗を活用した「湯の山温泉グリーン工房」のインストラクターとして、来客者に間伐材を利用した木工体験を実施
- ⑥三重県森林ボランティア交流大会、各種研修会、行政・各種機関主催のシンポジウム、展示会等への積極的参加

上記ホームページにアクセスしてください。または上記事務局までご連絡ください。

三重県内をフィールドとして間伐、森林体験等の企画・指導、公共施設や個人宅の手に負えない木の伐採、木工教室など老若男女（若と女は少ない…）が幅広く活動しています。

地球クラブ

情報提供：市民ネットワークすずかのぶどう

〒510-0241 鈴鹿市白子駅前 9-20 NPO 法人市民ネットワークすずかのぶどう気付 ☎059-387-0767 ✉budou@mecha.ne.jp



「夏の鈴鹿川体験」の筏（いかだ）ながし体験

環境問題に関心が深い、退職した人たちが2002年に自発的に発足した団体です。個々が目指したい活動は個別に続けながら、月例会で情報の発信と共有に努めつつ、未来の担い手である子どもたちへの学習機会を提供を共通テーマにしています。

地域（鈴鹿川流域圏）で続く夏と冬のイベント、「夏の鈴鹿川体験」と「鈴鹿川流域の環境展」には、自分たちのブース出展と合わせて、他の活動グループや企業、行政との協働による運営に参加して、来場される親子のみなさんに環境意識を高めてもらう努力を続けています。

夏休みには、大切な水源でもある鈴鹿川の自然を、魚とりや水遊び等を通して知ってもらいます。また新年早々に、どんぐり、木の葉、松ぼっくりや貝がらなど身近な自然にある素材を使う工作を楽しんでもらいながら、人が生かされている自然の恵みに気付いていただけるよう、声かけに励んでいます。豊かな自然と人の幸せは、これからは子どもたちが担い手です！

まずはお電話ください！

会員個々が自由に考え行動できるグループです。心豊かな次世代を育てる活動に励む仲間に加わっていただき、楽しい時間を一緒に過ごしましょう！
世代交代も私たちの大切なテーマです。若いあなたも是非！

特定非営利活動法人 みえ里山自然ふれあいの会

情報提供：津市市民活動センター

〒514-1105 津市久居北口町 2698-10 ☎059-256-4557 ✉inoue23@arion.ocn.ne.jp



里山樹木観察会

里山は人間が入って自然の恵みを利用し楽しんでこそ里山です。何もしなければただの荒れた雑木林になってしまいます。安全に楽しめる里山に向け、環境を整備し、子どもを含め地域の皆さんや会員が楽しく安心して里山の自然と触れ合う場を提供することが「みえ里山自然ふれあいの会」の主な活動目的です。

里山の広場、散策道、農道などの草刈りを定期的に行い、樹木を間伐し林内に日光が十分届くように配慮しています。また、里山内の枯れ木を処理してあちこちに積みあげ、落ち葉を集めてその上に重ね、カブトムシやクワガタの産卵育成の場所を造成し、彼らが棲みやすい環境をつくっています。

また、里山内の湿地には2カ所に木製の遊歩道が架けてあり、湿地を観察しながら散策できるように整備をしています。また、会員が里山に来て収穫を楽しめるように、果樹園の管理、シタケ、ヒラタケの培養管理なども行っています。

活動内容をホームページ
(www.mienosatoyama.org/)
でご参照いただき、メール・電話で
ご連絡ください。

現在、会員数は40名ですが、活動の中心となる里山の保全・整備に参加できる会員は限られ、常に人手不足の状態にあります。里山に興味を持ち活動に参加したいと考えている人大歓迎です。一度現地へお越しください。

「竹の都・明和」農業生産研究会

情報提供：松阪市市民活動センター

事務局：〒515-0322 多気郡明和町上村 1400-52 (竹粉栽培実証圃場：多気郡明和町平尾) ☎0596-52-5370 ✉sy03-01-1400@email.plala.or.jp



日常は農業を体験しながら、農業祭で地域
おこしに取り組んでいます。

人の手が入らなくなった竹林が雑木林や住宅地へ侵食、拡大する…という放置竹林の問題が大きな地域課題となっています。そんな中、同研究会では、竹の有効活用を通じて新たな資源循環の仕組みづくりに取り組んでいます。平成21年、新たな竹の活用法を模索するなかで、独自で竹粉を開発。竹が持つ豊富な糖分やミネラルが生ゴミを発酵・分解するという特徴を生かし、竹粉末を利用した生ゴミの堆肥化、有機野菜の栽培をはじめました。ゴミの処理には収集から運搬、処理などにたくさんのエネルギーや費用がかかり、地球温暖化の原因と言われるCO₂も多く発生します。竹粉末で堆肥化することで、生ゴミの減量にもつながっています。また資源再生の観点から、エコキャップ・廃食油の回収などのリサイクルも推進しています。近年では、この活動を地域へ広め、環境意識を高めてもらいたいと、地元の小学校などに出向き、環境学級を行うなど、地域に密着した活動をすすめています。

学生ボランティアを募集して
います。日時などは応相談。
お気軽にお問い合わせくだ
さい。

地域の方が気軽に参加できる「タケカフェ」や、廃食油の回収、廃食油エコキャンドル教室、エコキャップ回収など温暖化防止・人との絆の場づくりに取り組んでいます。新たに「地球温暖化親子教室」も企画しています。

御浜町生ごみ減らし隊

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

〒519-5204 南牟婁郡御浜町阿田和 4855 ☎05979-2-2779



先進事例の視察の様子

「御浜町内の生ごみを減らしたい」という思いで4年前に立ち上げられ、ぬか・EM・もみ殻の3種類で作った「EMぼかし」や、段ボールコンポストなどを用いた生ごみの堆肥化による減量に取り組んでいます。昨年からは、不要な草木を肥料として用いる炭素循環農法を取り入れるなど、御浜町とも連携しながら活動を広く展開しています。また、団体を立ち上げた当初、視察先の高齢者の方々が同様の手法で多くの収入を得ていることを知り、御浜町でも高齢者の収入を増やして元気なまちにしたいという強い動機が生まれ、毎月第2日曜日には道の駅パーク七里御浜で開催している「みはま元気まつり」で出店をするようにもなりました。自家製のEMぼかしや有機野菜を販売しており、こちらも徐々に成果が出始めています。今後はより多くの手法を取り入れながら、多様な主体と共に「オール御浜で生ごみ減らし隊」としてさらなるステップアップを目指したいと考えています。

連絡先への問い合わせ、研
修会への参加 など

日々の取り組みの中で感じる小さな喜びを糧に、地域の元気と生ごみの減量化に向けて取り組んでいきますので、是非私たちと一緒に活動しましょう。手をかけている畑にもご案内しますので、是非一度見に来てください。

募集のご案内

「小さき声のカノンー選択する人々」 上映会&鎌仲ひとみ監督トークライブ

震災から4年経った今でも、まだたくさんのお母さんが不安や悩みを抱えながら生活しています。避難している人、避難できない人、さまざまな選択を支えていくことが今後必要だということを三重の方にも知っていただきたいと思い、ドキュメンタリー映画を北勢会場（菰野町）と中勢会場（津市）の二カ所で上映します。

●北勢会場

日時 2015年10月11日（日）
13:00～16:00（受付12:30）

場所 菰野町民センター（三重郡菰野町福村871-2）

問合せ先 TEL：080-3630-0424（山口）

✉ kanon.yokkaichi@gmail.com

●中勢会場

日時 2015年10月11日（日）
16:30～19:30（受付16:00）

場所 アスト津3階 ミーティングルーム（津市羽所町700）

問合せ先 TEL：080-3669-9820（高橋）

✉ mietomo_311@yahoo.co.jp

チケット 前売り：大人1300円 中高生700円（両会場共）
当日：大人1500円 中高生800円（両会場共）

主催 311みえネット <http://311mienet.jimdo.com/>

COOL JAPAN 「地域『学』フェスティバル」

「クールジャパン学んで体験 日本のかっこいい!を大発見★」をテーマに、みえ生涯学習ネットワークに加盟する団体の皆さんによるさまざまな体験ブースの出展、発表、展示など楽しく学んでいただける内容です。また、素敵な景品がもらえるスタンプラリーも行います。

日時 2015年10月17日（土）10:30～16:30

場所 三重県総合文化センター ギャラリー、広場、他

参加費 無料（一部有料）

問合せ先 三重県生涯学習センター
TEL：059-233-1151 FAX：059-233-1155

✉ manabi-kouza@center-mie.or.jp

第4回バツタを捕るだけのボランティア募集!

目指せ!バツタ捕り名人!津市白塚海岸で1時間の清掃後、バツタ捕りをします。

日時 2015年10月18日（日）
9:00～ 海岸清掃 10:00～ バツタ捕り開始

場所 津市白塚海岸（雨天中止）

定員 30名（要申込）

持ち物 特になし（Myたも持参OK!）

主催 白塚の浜を愛する会（協力：白塚ウミガメクラブ）

申込先 TEL：090-7605-2102（西口）

平成27年度 薬物フォーラム

「依存症からの回復 多様な社会参加を考える」

●講演「ワタシたち、これでフツーです!～多彩な就労支援を目指して～」

講師 横山順一氏（一般社団法人むら 代表理事）

●対談「沖縄県と三重県のそれぞれの現状と課題」

対談者 横山順一氏 市川岳仁（三重ダルク）

日時 2015年10月24日（土）

10:00～12:30 ※開場 9:30

場所 三重県人権センター多目的ホール
（津市一身田大古曾693-1）

参加費 無料

対象 どなたでも（申込不要）

問合せ先

・三重県こころの健康センター TEL：059-223-5243

・特定非営利活動法人三重ダルク TEL：059-222-7510

環境県民講座 「伊勢湾の再生を考える」

～第3回 講義「豊かな伊勢湾の環境のいまとこれから」～

伊勢湾に何が起きているのか、そして我々はどう行動すべきなのか、三重に住む私たちみんなで知り、考えていきたいと思えます。

日時 2015年12月12日（土）13:30～15:30
（申込締切11月10日）

講師 国分 秀樹氏
（三重県水産研究所鈴鹿水産研究室 主任研究員）

場所 三重県総合博物館（MieMu）3階 レクチャールーム

参加費 無料

持ち物 筆記用具

対象 大人向け

定員 50名
（申込み多数の場合は抽選。その際、三重県在住の方を優先）

申込方法 郵便、FAX、Eメールのいずれか

問合せ先 三重県環境学習情報センター
TEL：059-329-2000 FAX：059-329-2909

✉ info@eco-mie.com

NPOのみなさん。お悩みありませんか？ 専門相談会開催！

みえ市民活動ボランティアセンターでは、窓口やメール、電話などで常時、NPOに関する相談を承っております。このたび、その相談業務をさらに強化するため「NPOのための専門相談会」を設けることとなりました。セミナーのような1対多ではなく、1対1の相談会となりますので、相談者の方がお聞きになりたい話が聞ける機会となっております。

11月には下記の内容で相談会を実施いたします。是非ご参加ください。

次回 2015年11月17日(火)

テーマ 労務管理に関する相談

あなたの組織にあった資金調達方法を 探しませんか？

9月～10月にかけて、みえ市民活動ボランティアセンターでは「NPO グレードアップセミナー NPOの資金調達を考える 秋の陣」を開催いたします。

その組織にあった資金調達の手段や方法を見直すといった内容となっております。

9月のA・B2つの講座は無事終了いたしました。

今回がラストの講座になります！

皆さまのご参加お待ちしております！！

～融資を通じて、人と地域をつなげ、持続可能な組織にする～

日時 2015年10月17日(土)

10:00～12:00

講師 コミュニティ・ユース・バンク momo
代表理事 木村 真樹さん

場所 みえ市民活動ボランティアセンター
(津市羽所町700番地 アスト津3階)

定員 30名(先着順)

受講料 詳細はHPをご覧ください。

いたずら好きの 宇宙人がやってきた!?

＜集まれ！グローバルレンジャー ～世界を知る！学ぶ！楽しむ！～ Hand in Hand みえの地球市民 2015 >
開催します！！

今年もこの季節がやってまいりました！

いたずら好きのプランクが宇宙からやって来るとの予告！参加者のみんながグローバルレンジャーになって、世界の伝統、文化、遊びを守ります。ワークショップや展示・食べ物ブースをまわってスタンプを集めながら世界のことを学び、プランクの上陸を阻止しましょう！たくさんスタンプを集めた人は素敵なプレゼントがあるかも！？

日時 2015年12月13日(日)

10:00～16:00

場所 みえ県民交流センター(アスト津3階)

対象 親子(小学生とその保護者)

参加費 無料

救命・AED 講習に参加しました！

8月に開催された「救命・AED 講習」に参加しました。心肺蘇生法・AEDの実技訓練を行いました。

周囲の安全の確認から始まり、胸骨圧迫・人口呼吸などの流れに沿って訓練をし、その後AEDを人形に装着し操作の仕方を学びました。

このような非常事態に遭遇した場合、冷静に対処することが大切だと改めて感じました。

皆さんもひと事ではない時が来るかもしれません。

一度、調べるなどして頭に入れておきましょう！



みえぎんNPOローン 特許取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重県の新名物

伊勢おやき本舗

年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店



イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。

四日市市諏訪柴町3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21ww@yahoo.co.jp

助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

三重県産業支援センター 平成 27 年度みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金募集「地域資源活用型／地域課題解決型」

① 10月23日(金) 17:00 必着 ② 三重県内に主たる事務所(事業所)を有する創業者や新事業を行おうとする中小企業者、NPO 法人等 ③ A. 地域資源活用型: 1件の上限 400 万円(助成率 2/3、助成期間 2 年以内) B. 地域課題解決型: 1 件の上限 200 万円(助成率 2/3、助成期間 1 年以内)

※「平成 27 年度みえ農工商連携推進ファンド助成」も同時募集中

損保ジャパン日本興亜福祉財団 2015 年度・損保ジャパン記念財団 NPO 基盤強化資金助成「認定 NPO 法人取得資金」助成

① 10月30日(金) 17:00 ② 社会福祉分野で活動し、認定 NPO 法人の取得を計画している非営利団体

③ 1 団体 30 万円(総額 600 万円を予定)

ヤマハ音楽振興会 地域音楽活動支援

① 10月30日(金) 楽器店必着 ② 音楽による演奏活動や創作活動で、地域の音楽文化向上に貢献する音楽グループ、団体

③ 1 件の上限 20 万円(50 件程度)

コメリ緑育成財団 第 26 回コメリ緑資金助成

① 10月31日(土) 当日消印有効 ② 「緑化植栽活動」「自然環境保全活動」に取り組む団体

③ 活動に関わる材料費・資材費・植栽道具等必要な額

生命保険協会 元気シニア応援団体に対する助成活動

① 10月31日(土) 当日消印有効 ② 高齢者を対象にした健康管理・増進、自立支援、生きがいづくり等の活動を行っている非営利団体、ボランティアグループ等 ③ 1 件の上限 15 万円(総額 500 万円)

全国税理士共栄会文化財団 平成 27 年度・第 25 期助成「地域文化の振興をめざして」

① 10月31日(土) 当日消印有効

② 「音楽・舞踊・演劇等の芸術」「伝統芸能」「伝統工芸技術」「人材養成事業」「食文化」の分野で活動している個人、団体

③ 1 件の上限 50 万円

笹川平和財団 国際理解・国際交流および国際協力推進事業助成

① 10月31日(土) 必着

② 国際理解・国際交流および国際協力を推進するための事業を行っている社団法人、NPO 法人、学校法人等

③ 上限の設定なし(過去実績 1 件年間 200 万円～1,000 万円程度)

スタッフルール

会社の業務で文書作成やメール用などにノート PC を手にしたのが 20 年以上前。Win3.1 に一太郎、Lotus1-2-3 の構成でした。その後、半導体集積回路技術や情報通信技術の飛躍的な進歩により、PC の高速・大容量・小型・低価格化が進み、また通信回線の高速・広帯域・低価格化により、ネットが情報の収集・発信、コミュニケーション手段として定着しました。更にスマホなどの普及により利用方法は多様化し、子どもから大人までが利用しています。一方でネット空間にはマルウェアという、PC を不調にするウィルスから、犯罪の道具となるワーム、トロイの木馬、スパイウェアなどが潜んでいます。感染を抑える方法は OS・利用ソフト・マルウェア対策ソフトなどを最新の状態に保つことだけです。感染源はメールが一番多いので不審な添付ファイルや URL は開かないこと。また、メールの表示は Text 形式、外部記憶媒体やマクロ機能の自動実行抑止、ネットバンキングは正しい URL を登録して使うなど、ネットに掲載の予防策を参考に。PC の動作・挙動が変だと感じたら即ネットを切断して感染のチェックから駆除を行います。(鈴木)

認定した 特定非営利活動法人

(2015 年 8 月 10 日～2015 年 9 月 9 日認証分)

① 法人名 ② 主たる事務所の所在地 ③ 活動分野
④ 認証年月日 ⑤ 代表者

- ① 特定非営利活動法人 高齢者自立支援事業所ココロノカタチ
- ② 津市柳山津興 369 番地 59
- ③ 保健、社会教育、その他
- ④ 2015 年 8 月 10 日
- ⑤ 理事長 杉崎 英樹

- ① 特定非営利活動法人 四日市ウミガメ保存会
- ② 四日市市羽津町 2 番 16 号
- ③ 社会教育、まちづくり、観光の振興、農山漁村・中山間地域、学術、環境、子ども
- ④ 2015 年 8 月 13 日
- ⑤ 代表理事 森 一知

- ① 特定非営利活動法人 こども未来創造学園
- ② 伊勢市大湊町 513 番地 91
- ③ 社会教育、学術、子ども、情報化社会
- ④ 2015 年 8 月 19 日
- ⑤ 理事長 大谷 啓

- ① 特定非営利活動法人 昴
- ② 四日市市久保田一丁目 1 番 33 号
- ③ 社会教育、学術、環境、人権、その他
- ④ 2015 年 8 月 19 日
- ⑤ 理事長 大河内 理恵子

- ① 特定非営利活動法人 ベルファーム地元協議会
- ② 松阪市小阿坂町 314 番地 4
- ③ まちづくり、観光の振興、農山漁村・中山間地域、環境
- ④ 2015 年 9 月 2 日
- ⑤ 会長 坂口 秀夫



転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

READER はこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのびどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤木の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下 JA バンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀) 地域活性化局[南勢志摩、紀北、紀南])/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/MieMu(三重県総合博物館)/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下 JA/JA 三重信連

株式会社
阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。